

# 後援会 東北工業大学 だより

第35号  
東北工業大学後援会

2020年4月20日(月)

〒982-8577 仙台市太白区八木山香澄町35番1号 電話(022)305-3155



## ごあいさつ



後援会会長  
小鹿 信弘

ご父母の皆様、日頃から後援会の活動にご支援ご協力を賜わり心より感謝申し上げます。

後援会の目的は、大学の興隆発展に寄与し、会員相互の連携を図ることであり、その目的達成のため、本会では様々な事業を計画しております。本来であれば、入学式後に後援会総会を開催し、令和元年度の事業と会計報告、令和2年度事業計画並びに予算(案)をご承認頂く予定でありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、入学式が中止になったことに伴い、今年度は総会に代えて総会議案書を全家庭に郵送させていただきました。新型コロナウイルスの感染が一日も早く終息し、学生が普段の楽しい大学生活を取り戻せるよう願っております。

さて、後援会の事業をいくつかご紹介させていただきます。

### 1. ご父母対象事業

#### <父母懇談会>

大学と家庭との連絡活動として、仙台会場2ヵ所（八木山キャンパス・長町キャンパス）、東北5県と新潟県の計8会場で父母懇談会を実施しております。父母懇談会では、ご子女の所属学科教員との個人面談を行っています。学業のことは勿論、授業への出席状況、就職対策、課外活動等について、直接教員からアドバイスを聞くチャンスであり、参加したご父母からは大変好評をいただいております。その他、各会場では、就職関連、今どきの学生の現状と課題など、専門の講師による講演会も実施します。

#### <大学見学会>

10月の大学祭時に、ご父母対象の大学見学会を実施しております。日頃の学生の活動の様子や成果を見ることができ、県外からも多くのご父母にご来場いただいております。

### 2. 学生対象事業

#### <貸与奨学金>

歴代のご父母から委託されてきた特別積立金の使途の一方策として、平成12年度から東北工業大学後援会貸与奨学金制度が制定され、4年次に在籍し、経済的事由により就学が困難な学生に対して後援会が銀行と提携して奨学金を貸与しております。

#### <100円朝食キャンペーン>

平成29年度後期より大学が実施している100円朝食キャンペーンの経費を援助しております。朝食を摂らないことで生活リズムが乱れ、不規則な食生活で体調を崩してしまう学生の健康管理や、生活習慣を改善し、学業に専念できる状態を維持することを目的として実施しております。

#### <就職支援>

就職活動時に活用する就職の手引の作成や支援講座・模擬テスト等の経費の一部援助を行っております。

#### <課外活動支援>

クラブ活動の用具類等の援助を行っております。また、昨年度は、課外活動優秀者として、10団体、22名の個人、さらに学科推薦表彰の9名が学長から表彰されましたが、後援会では、その10団体と31名の個人に対し副賞を贈呈いたしました。

以上のような事業以外にもご父母、学生、大学のために多くの施策を実施し、満足度の高いサービスの提供を心掛けておりますので、今後とも皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 令和2年度 後援会役員

役職名	氏名	役職名	氏名
会長	小鹿 信弘	理事	○飯田 俊行
副会長	佐藤 育朗	青森県支部長	八戸 認
副会長	高橋 健一	秋田県支部長	佐々木 雅章
副会長	伊藤 克利	岩手県支部長	福士 光則
会計担当理事	丹野 喜昭	山形県支部長	三澤 桂一
理事	嶺岸 裕	福島県支部長	壁谷 茂
理事	小野寺 正美	新潟県支部長	伊藤 広義
理事	朽木 康裕	監事	安倍 恵子
理事	堀 豊	監事	◎齋藤 麻希

○印は新任  
◎印は理事から監事

# 令和元年度 後援会事業報告

東北工業大学後援会は、昭和60年4月に発足してから今年度35年目を迎えることができました。

本会は、規約にもありますように、その目的を実現するために、下記のとおり種々の事業を継続的に行っておりますが、ここに令和元年度の活動を報告いたします。

## 記

### 1. 大学と家庭との連絡活動

#### (1) 父母懇談会

後援会の主要行事の一つである父母懇談会は、東北から新潟までの8会場で開催され、541名（両親出席も1名として集計）のご父母が参加されました。

大学側の近況報告、講演会、学科ごとに教員との個人面談が行われました。ご父母からは、学業成績をはじめ就職問題に至るまで活発な質問やご意見が寄せられ、応対する先生方と和やかな中にも熱心な話し合いがもたれ、好評のうちに終了しました。

\*ご両親出席も1名として集計

開催地	青森	盛岡	八木山	長町	秋田	山形	福島	新潟	合計
実施日	6/1	6/15	6/8	6/8	6/2	6/1	6/15	6/2	
参加者	29	59	241	81	41	63	19	8	541
工学部	電気電子工学科	4	14	61	-	11	11	3	105
	情報通信工学科	8	10	61	-	10	12	7	108
	建築学科	6	10	67	-	4	16	4	108
	都市マネジメント学科	2	13	28	-	7	6	2	63
LD学部	環境エネルギー学科	2	3	24	-	4	8	2	43
	クリエイティブデザイン学科	5	4	-	32	3	3	0	48
	安全安心生活デザイン学科	1	3	-	21	2	5	0	32
経営コミュニケーション学科	1	2	-	28	0	2	1	34	

※ LD学部はライフデザイン学部の略称です。

#### (2) 講演会の開催

父母懇談会の開催にあわせ、青森・盛岡・秋田・山形・福島・八木山キャンパス・長町キャンパスの7会場で開催いたしました。各会場の講演内容は次のとおりです。

##### 盛岡会場

講師：就職委員長 千葉 則行（都市マネジメント学科 教授）  
演題：「本学の就職状況と保護者の立場からの就職活動支援」

##### 本学八木山キャンパス

講師：就職副委員長 堀 則男（建築学科 教授）  
演題：「本学の就職状況と保護者の立場からの就職活動支援」

##### 本学長町キャンパス

講師：就職副委員長 小祝 慶紀（経営コミュニケーション学科 准教授）  
演題：「本学の就職状況と保護者の立場からの就職活動支援」

##### 青森会場

講師：就職副委員長 松田 勝敬（情報通信工学科 准教授）  
演題：「本学の就職状況と保護者の立場からの就職活動支援」

##### 秋田会場・福島会場・本学八木山キャンパス

講師：猿渡英代子（ウェルネスセンター カウンセラー）  
演題：青年期の課題と現状  
～悩むことは成長のチャンス～

##### 山形会場・本学長町キャンパス

講師：袋地 知恵（ウェルネスセンター カウンセラー）  
演題：対話の重要性  
～学生相談の現場から～

参加者からのアンケートでは、

- ・子供の学生生活、態度など、普段の部分について伺う事ができ非常に安心しました。
  - ・就職活動の進め方や支援について詳しく説明して頂き、大変良かったです。
  - ・カウンセラーの方が大学にもいらっしゃるということを初めて知りました。
- などの感想が寄せられました。

このように、皆様にご共通した関心の深いテーマをご提案いただき、今後も継続してより充実した講演会にしていきたいと考えております。

#### (3) 「後援会だより」並びに「キャンパスガイド家庭版」の発行

後援会の活動状況を会員にお伝えするため、「後援会だより」（第34号）を4月に発行しました。あわせて父母懇談会の意義や講師の紹介などを掲載した父母懇談会のご案内と「キャンパスガイド家庭版」を作成し送付しました。

#### (4) 本年度も大学の協力を得て、「履修成績通知書」を2回送付しました。

### 2. 学生生活に関する援助

#### (1) 100円朝食キャンペーンへの補助

朝食を摂らないことで生活リズムが乱れたり、不規則な食生活で体調を崩してしまう学生の健康管理や生活習慣を、朝食を摂ることを通じて改善し、学業に専念できる状態を維持することを目的として、大学が実施した100円朝食キャンペーンの経費を援助しました。

#### (2) 災害発生時の帰宅困難学生用の備蓄品（保温シート、食料）購入に係る経費の一部を援助しました。

### 3. 就職支援の援助

#### (1) 「就職の手引き」の作成

学生の就職活動に役立ててもらうため、就職活動の進め方や履歴書の書き方などを記載した「就職ガイドブック」を作成し、令和元年度3年次生の就職ガイダンスにおいて学生に配布しました。

#### (2) 就職支援講座・模擬テスト等の充実

3年次生の就職支援を強化するため、希望者に対してSPI（Synthetic Personality Inventoryとは、総合適性検査と称し多くの企業の入社試験で利用されている。検査は「能力適性検査」（言語的能力（国語）、非言語能力（数学））と「性格適性検査」（行動的側面、意欲的側面、情緒的側面、性格的類型）の2つに分かれている。特に、能力適性検査については、試験形式に特徴があるので問題慣れる必要がある。）特別講座、自己分析講習会、就職模擬テスト（一般常識テスト、就職適性検査および自己PR等の記入指導）などを実施しましたが、その経費の一部を援助しました。

#### (3) 合宿形式の就職対策研修会にその経費の一部を援助しました。

#### (4) 進路支援活動への支援

各学科で実施する進路支援活動に対し、学生数×1,000円を上限に援助しました。

### 4. 課外活動の援助

学生会・課外活動連合委員会を中心とする学生の自主活動には、体育会系・文化会系クラブの約50団体と、学生会・大学祭実行委員会・報道部会・応援団・その他任意団体がありますが、その活動を後援する目的で下記のとおり援助を行いました。

#### (1) クラブ活動用具類等の援助

課外活動連合委員会からの要請を受けて、各クラブの活動状況を評価して、必要な物品を援助しました。また、各クラブが加入するスポーツ保険加入料の経費の一部を援助しました。

#### (2) 北海道科学大学との総合定期戦における諸経費の一部援助

第34回北海道科学大学・東北工業大学総合定期戦

は、8月27日、28日の2日間にわたり本学で開催されましたが、それにかかる経費の一部を援助しました。戦績は本学の6勝6敗でしたが、定期戦に関する取り決め事項第7条「引き分けの場合は遠征大学の優勝とする」により北海道科学大学の総合優勝となりました。

大会にはサッカー部・ソフトテニス部・硬式テニス部・バスケットボール部・剣道部・柔道部・弓道部・アメリカンフットボール部・バレーボール部・ハンドボール部・バドミントン部・卓球部の12クラブが参加しました。

- (3) 千葉工業大学との硬式野球部定期戦  
千葉工業大学との第45回硬式野球部定期戦は8月18日に本学、長町キャンパス野球場で開催され、5対0で勝利しました。この定期戦に伴う費用の一部を援助しました。
- (4) 学内・学外指導者への援助  
学生のクラブ活動をご指導いただいている学内外の指導者に対して、各大会等へ引率旅費等を援助しました。
- (5) 課外活動クラブが遠征等に八木山シャトルを利用した際の借用経費等の一部を補助しました。
- (6) 課外活動優秀者学長表彰において、団体表彰(10団体)及び個人受賞者(22名)、さらに学科推薦表彰者(9名)へ副賞を贈呈しました。

## 5. 教育に必要と認められる援助

- (1) 図書館への援助  
書籍等の図書を購入し、大学図書館に寄贈しました。
- (2) 卒業生および新入生への援助  
卒業生に対する記念品として印鑑、新入生に対する記念品としてキャンパスカレンダー、およびクリエイティブデザイン学科学士のデザインによるペーパーバッグ(手提げ袋)を贈呈しました。
- (3) 二輪車運転実技講習会経費の一部援助  
大学では、安全運転の徹底をはかるため二輪車で通学する学生に対して、登録制度を採用しており、大学が指定する実技講習会の受講を義務付けています。本年度は、4月から10月までに4回実施しており、全体で77名が宮交自動車学校の指導員より指導を受けましたが、その際の参加賞品の一部を援助しました。
- (4) 工大山羊プロジェクトに係る経費を援助しました。
- (5) 10月12日・13日八木山キャンパスで開催の大学祭時に、学生の活動や学内の様子を見学するための「大学見学会」を実施予定でしたが、台風19号の影響により一部中止となりました。  
なお、10月12日10:00～12:30まで時間を短縮して開催された大学祭に43組108名のご家族が参加されました。その際の経費の一部を援助しました。

## 6. その他大学の発展に寄与するものと認められる援助

- (1) 特別積立金  
本年度は300万円を一般会計より組み入れました。
- (2) 貸与奨学金制度  
大学から推薦された5名の学生に後援会貸与奨学生として貸与いたしました。  
昨年度までに採用された56名の卒業生から返還が行われております。卒業された奨学生の方々の社会でのご活躍を祈念いたします。
- (3) 一番町ロビーへの援助  
東北工業大学一番町ロビーの広報活動の一助として、「一番町ロビー通信」の印刷経費等を援助しました。

## 7. 後援会支部組織の強化支援

後援会の充実と組織の強化を図るため、東北5県(宮城県除く)および新潟県に支部を結成しており、地元での活動を行っています。  
大学と各支部との情報交換および活動支援のため、後援会本部役員等が各支部の総会のほか幹事会にも参加し意見交換を行いました。  
本年度も、各支部が独自に大学見学会を企画し、10月12日の大学祭開催日に八木山キャンパスを見学予定でしたが、台風19号の影響により中止となりました。  
また、各支部では、支部会報を発行する等活発な活動が行われております。

## 令和元年度 各県支部総会開催日および支部役員

開催県	青森県 第24回支部総会	岩手県 第25回支部総会	秋田県 第23回支部総会	山形県 第27回支部総会	福島県 第24回支部総会	新潟県 第20回支部総会
開催日	6月1日(出)	6月15日(出)	6月2日(出)	6月1日(出)	6月15日(出)	6月2日(出)
支部長	八戸 認 (青森市)	福土 光則 (滝沢市)	佐々木雅章 (秋田市)	三澤 桂一 (山形市)	壁谷 茂 (田村市)	伊藤 広義 (阿賀野市)
事務局長	有馬 清文 (青森市)	佐藤 功 (北上市)	高橋 孝悦 (秋田市)	齋藤 俊之 (山形市)	宗像 幸雄 (郡山市)	大竹 章夫 (阿賀野市)
幹事	西館 隆 (八戸市)	鎌田 正彦 (花巻市)	藤澤 哲 (秋田市)	斎藤 雅博 (最上郡)	山田 良一 (福島市)	渡辺 憲昭 (北蒲原郡)
	橋本 進 (三沢市)	工藤 安彦 (盛岡市)	小林 克至 (秋田市)	加藤 元康 (東置賜郡)	只野 昭治 (二本松市)	市川 勝彦 (阿賀野市)
	佐藤 仁志 (十和田市)	佐藤 清光 (花巻市)	藤田 正春 (秋田市)	佐々木健一 (山形市)	吉田千津子 (福島市)	<顧問> 竹野 史郎 (燕市)
	横内 俊博 (青森市)	菅原 正明 (盛岡市)	浅利 善人 (秋田市)		嶺岸由紀彦 (福島市)	明道 立樹 (燕市)
	長利 好晃 (つがる市)	菅原 正美 (二戸市)	足利 健 (秋田市)		立谷 惣一 (相馬市)	
		菊地 康 (奥州市)	佐々木 司 (秋田市)		林 由紀江 (いわき市)	
		飛澤 隆 (宮古市)	永井 文晴 (秋田市)			
		佐々木敏江 (柴波郡)				
		関村 和絵 (盛岡市)				
		畠山 泰彦 (北上市)				
		小原 学 (柴波郡)				
		日廻 葉子 (奥州市)				
退任された役員			相原 隆志 尾形 肇 (令和元年6月)	川崎 修 (平成31年3月) 酒井原敏士 佐々木 稔 (平成31年4月)	菅野 貞夫 (平成31年3月)	

## 8. 同窓会との連携強化

大学の発展に寄与するため、大学の支持基盤の強化を図る一助として同窓会との連携を強める活動として同窓会総会・懇親会に後援会役員が出席し、交流を深めました。  
また、新潟県支部・青森県支部においては、支部総会当日、同窓会支部総会が開催されたため、双方参加の懇親会を開きました。  
さらに、同窓会山形県支部設立記念事業へ参加し、連携強化に向けて積極的な交流を行いました。

## 9. 後援会事務局からの情報発信

令和2年度からの東北工業大学後援会 Web サイト開設へ向け、構築を進めました。

## 10. 諸会議等

- 総 会 平成31年4月3日(水)(議案書審議)
- 三 役 会 議 平成31年4月10日(水)(父母懇談会について)
- 意見交換会 令和元年5月23日(木)(東北工業大学と後援会との意見交換)
- 三 役 会 議 令和元年7月2日(火)(父母懇談会参加状況・県支部担当について)
- 三 役 会 議 令和元年9月12日(木)(秋の理事会・予算執行中間報告・Web サイト開設について)
- 理 事 会 令和元年10月12日(出)(台風19号の影響により中止・持ち回り開催)
- 大学見学会 令和元年10月12日(出)(台風19号の影響により規模縮小)
- 三 役 会 議 令和元年11月20日(水)(父母懇談会について、Web サイト開設について)
- 支部長懇談会 令和元年12月14日(出)(父母懇談会について、Web サイト開設について)
- 三 役 会 議 令和2年1月22日(水)(卒業・入学記念品選定、貸与奨学生について)
- 会 計 監 査 令和2年3月7日(出)
- 三 役 会 議 令和2年3月7日(出)(総会議案検討)
- 理 事 会 令和2年3月14日(出)(新型コロナウイルス感染症の影響により中止・総会議案書審議・持ち回り開催)
- 三 役 会 議 令和2年3月25日(水)(総会について)
- 事務局会議 随 時

# 令和2年度 後援会事業計画

後援会規約第3条に基づき、事業計画の主な項目として、下記のとおり提案します。

## 記

### 1. 大学と家庭との連絡活動

- (1) 父母懇談会  
大学教職員と父母との交流の場として、学生の学園生活・修学および就職状況等について語り合う父母懇談会を開催します。父母懇談会の充実に努め、参加者の増加を図ります。
- (2) 父母懇談会時の講演会の実施  
各父母懇談会会場において、講演会を開催します。講師には本学教員およびカウンセラーを予定しています。
- (3) 「後援会だより」「キャンパスガイド家庭版」の発行と「成績通知書」の送付  
後援会活動状況ならびに大学生活等の情報発信メディアとして「後援会だより」を発行するほか、教職員・学生・父母が大学の情報を共有して、大学の動向について理解を深めていただくため、「キャンパスガイド家庭版」を作成します。また、修学状況をお知らせするため大学の協力を得て、成績通知書をご家庭に送付します。

### 2. 学生生活に関する援助

- (1) 100円朝食キャンペーンへの経費援助  
朝食を摂らないことで生活リズムが乱れたり、不規則な食生活で体調を崩してしまう学生の健康管理や生活習慣を、朝食を摂ることを通じて改善し、学業に専念できる状態を維持することを目的として、大学が実施する100円朝食キャンペーンの経費を全額援助します。
- (2) 災害発生時の帰宅困難学生用の備蓄品（毛布、水、食料等）購入に係る経費の一部を援助します。

### 3. 就職支援の援助

- (1) 就職活動に役立つ「就職の手引き」など冊子類の作成に係る経費を援助します。
- (2) 就職支援を強化するため、本年度は全学生が受験する適性検査（PROGテスト）の経費の一部を援助します。
- (3) 合宿形式の就職対策研修会にその経費の一部を援助します。
- (4) 各学科の進路支援活動に対して、その経費の一部を援助します。

### 4. 課外活動の援助

- (1) クラブ活動の援助  
体育・文化系団体等の学生の自主的活動を支援するため、その活動経費等の一部を援助します。また、年間活動優秀団体を表彰します。
- (2) 大学祭等に対する援助  
学生の全学的行事である大学祭等に対する援助を行います。
- (3) 指導者の諸経費援助  
学生の課外活動における合宿・対外試合等の指導に当たる指導者に対する旅費・宿泊費等を援助します。
- (4) その他必要と認められる援助  
その他、課外活動等への援助に関しては大学・学生委員会と連携を図りながら進めます。

### 5. 教育に必要と認められる援助

- (1) 書籍等の図書を購入し、大学図書館に寄贈します。
- (2) 卒業生・入学生に対して、記念品を贈呈します。
- (3) 工大山羊プロジェクトに係る経費を援助します。
- (4) 学生の自主的活動や社会連携・社会貢献の企画に対し経費を援助します。
- (5) その他、必要と認められる援助をします。

### 6. その他大学の発展に寄与するものと認められる援助

- (1) 学生生活環境の整備  
学生の生活環境の向上を図るため、諸施設・設備整備のための経費の一部を援助します。
- (2) 自主的サークル活動への援助  
課外活動連合委員会傘下クラブ以外の学生の自主的サークル活動の援助を行います。
- (3) 一番町ロビーへの援助  
「一番町ロビー通信」の印刷経費等を援助します。
- (4) 特別積立金  
本年度においては、特別積立金会計に300万円を計上することとします。  
特別積立金の使途については、次世代へその恩恵を継続できるよう、次の3点を踏まえ今後も検討していきます。
  - 1) 特別積立金の使途については、大学当局と十分意見交換を行いながら、具体的な方策を提案します。
  - 2) 学生に豊かなキャンパスライフを提供できる施策とします。
  - 3) 今後在籍する学生も利用可能な学生支援事業とします。
- (5) 貸与奨学金制度  
歴代のご父母から委託されてきた特別積立金の使途の一方策として、平成12年度から東北工業大学後援会貸与奨学金制度が制定され、61名の卒業生に貸与してきました。その運用にあたっては特別積立金の果実（利子）により賄えることが望ましいが、現状に鑑み特別積立金の中から貸与奨学生預金担保に組み入れます。  
平成26年度までは奨学金対象者6名でしたが、平成27年度より8名に増やしました。  
なお、返済期間満了に伴って生じる貸与奨学生預金担保戻入金は特別積立金に繰り入れます。
- (6) TOHTECH2023募金への寄付  
学生・父母が直接使用する物品購入に充てられるよう条件を付け、特別積立金から寄付いたします。

### 7. 後援会支部組織等の強化支援

支部組織の強化を図るため、適宜、支部幹事会を開催します。また、各県支部活動の情報交換や大学見学会等の活動を支援します。  
また、宮城県内会員に対しては、本部役員が支援いたします。

### 8. 同窓会との連携強化

大学の発展に寄与するため、大学支持基盤の強化を図る一助として、同窓会との連携を強めます。

- (1) 後援会、同窓会の三役連絡会議を随時開催し、交流を図ります。
- (2) 各支部と同窓会支部との連携拡大に努めます。

### 9. 後援会事務局の強化

本後援会の事務局は運営細則により大学当局の教務学生課が担当していますが、本会事業運営の発展とともに事務量は年々増加し、日常業務に支障をきたしている状況にあります。本会発足20年（平成18年度）を契機に大学当局、同窓会および本会の三者共同負担による専従職員の配置を行なってまいりましたが、平成26年度より後援会専従職員を配置しております。  
令和2年度より東北工業大学後援会Webサイトを開設し、後援会イベントのご案内や活動の様子を掲載し、情報発信に努めます。